

Kumamoto Gakuen University Library Bulletin

熊本学園大学
図書館報

大楠

Oaks

ISSN 0918-2128

第 63 号

2024 [令和6年]

Contents

- 1 館長エッセイ
- 2 特集「図書館で見つけたスポーツ」
- 7 REPORT
- 8 NEWS
- 9 Library Data



図書館キャラクター
「ひのと」と「しおりちゃん」

特集「図書館で見つけたスポーツ」

大阪で生まれ育ち、幼い頃、小学校の図書室にあった「学研まんが人物日本史」シリーズに夢中になり、中学校や高校では日本史と世界史の授業が毎回楽しみでした。大学では当然のように史学科に進み、いまは朝鮮半島の農業の歴史について研究しています。指導教授に「歴史学は足で資料(史料)を探すものだ」といわれたことで、これまでさまざまな図書館に出かけてきました。そこで、私の思い出に残る図書館の話をしようと思います。

最初は、学部・院生時代に足しげく通った神戸の青丘文庫です。この文庫は、神戸市長田区でケミカルシューズ工場を経営されていた在日1世の韓哲曦さんが私財を投じて1969年に開設された朝鮮関係専門の図書館です。須磨寺近くの韓さんの自宅マンションにあったことから、毎度緊張しながらお電話をして利用しました。90年代当時利用しにくかった植民地期の資料群を集中的に閲覧でき、出入りする研究者の方からアドバイスまでもらえる本当にありがたい場所でした。

次は、韓国のソウル南方の水原にあったソウル大学校農科大学図書館です。ここは植民地時代の水原高等農林学校が前身であり、留学中の2001~03年に数度訪問しました。静寂が支配する書庫に、植民地期の農業関係の資料や雑誌類が整然と並ぶ稀有な空間に感動したのを覚えています。また、館内の複写室で黙々と資料をコピーする私の姿を見て、職員のおじさんがパンとコーヒーマルを差し入れてくれたのも良い思い出です。

ちなみに留学の頃、一番通ったのが、ソウルの江南にある国立中央図書館です。当初は資料を申請・閲覧しては複写室を往復する日々でしたが、金大中大統領の2001年終わり頃から1945年以前の古い資料からデジタル化の作業が進められていきました。本館内の狭い1室の電子図書室にはじまり、やがてやや広いデジタル資料室へと拡充されました。モニター画面で資料を閲覧して、プリンターで出力する作業は、紙の資料に触れた実感がなくとまどいました。その後、2009年には新しくデジタル図書館が建てられ、今ではぜいたくな近未来的な施設で、資料の閲覧・出力ができるようになっています。こうして振り返ると、資料のデジタル化は、韓国のほうが随分と先行していたのかもしれません。

3年余りのコロナ禍を経て、アナログ人間の私でも「足」よりもモニター越しに「目と指」で資料を探す機会が自ずと増えました。それでも、しばらくの間は、紙の資料とデジタルの資料の並走状態が続くことでしょう。熊本学園大学の図書館は、これら二つの世界に集積された“知”をこれからもみなさんに届けていきます。

思い出の図書館



土井 浩嗣

Hirotsugu Doi

2024年8月図書館長就任
外国語学部教授
熊本学園大学副学長
[専門分野]
朝鮮近代史・農業史
[主な著書]
『植民地朝鮮の勸農政策』
(思文閣出版・2018年)



大楠(Oaks)とは

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹周り4~5mに達する県木でもある緑豊かな楠(クスノキ)の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks(Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。

【表紙写真】牛島未空さん(ライフ・ウェルネス学科3年/水泳部)・濱大洋さん(経済学科2年/陸上競技部)・松下佳保里さん(図書情報課 職員)



特集 図書館で見つけた スポーツ

図書館にはスポーツ実践・スポーツ観戦・スポーツ心理学・栄養学・身体のケアなど
スポーツを行う時に役立つ図書を揃えています。

ここでは本学教職員と学生が、スポーツに関するオススメの図書を紹介します。
ぜひ図書館に足を運んで「イチオシ」の本を手にとってみてください。

「スポーツの日」にちなんだトークイベントを開催。
ご登壇いただいた先生方に
「イチオシ」の本を紹介していただきました。



府内 勇希 先生
社会福祉学部 准教授

『新 絵でみる水泳指導のポイント1 低・中学年』 『新 絵でみる水泳指導のポイント2 高学年』

大貫 耕一・著／日本標準

これらは教員を志す学生さん向けの書籍です。私は教育実習の際にこうした書籍を読みあさって授業準備を行っていたのを記憶しています。

学校体育研究同志会で積み重ねられてきた指導の手順やポイントがまとめられています。イラストも豊富で水遊びから泳法の指導まで詳細に解説されているのが特徴です。こうした書籍に載っている知識を活用して魅力ある指導が展開できる先生を目指してほしいです。



『「わざ」を忘れた日本柔道』

有山 篤利・著／大修館書店

この本は、商業主義的な価値観を前面に押し出すスポーツ化した柔道の内実について、投げ技や抑え技などの「スキル(skill)」という観点からではなく、われわれの社会で形成され伝承される文化的な価値観をもつ「わざ」が、柔道競技者の中で喪失していることを調査研究から明らかにしている本です。真の「わざ」とはなにか？改めて柔道というものを考えた一冊です。ぜひとも多くの方に読んでいただき柔道愛好者が増えれば幸いです。



石橋 剛士 先生
社会福祉学部 准教授

『これからの体育・スポーツ心理学』

國部 雅大、雨宮 伶、江田 香織、中須 賀巧・編／講談社

この本は、体育・スポーツ心理学のさまざまなトピックについて、わかりやすくまとめられた教科書的位置づけの本です。カラーのイラストや図が掲載されているため、初めてスポーツ心理学を学ぶ学生でも内容を理解しやすいと思います。また、単にわかりやすいだけでなく、スポーツ心理学の多くの研究成果が引用されており、スポーツ心理学という学問が実証的な知見に基づく科学であることを実感できると思います。スポーツ心理学に興味がある学生は、ぜひこの本から読んでみてください。



久保 昂大 先生
社会福祉学部 講師



松岡 充浩さん
図書情報課 職員

『キャプテン!日本のスポーツを変えた男の全仕事』

川淵三郎・著/ベースボール・マガジン社

川淵さんは強烈なリーダーシップと決断力を発揮しさまざまな仕掛けを施し、「Jリーグ」としてプロサッカーリーグを発足させ、今では日本国中にJリーグのチームが誕生しました。そしてワールドカップと無縁だったサッカー日本代表は大会の常連となるまでに実力が向上しました。バスケットボールも日本代表は長年オリンピックの舞台から遠のき、国内リーグが分裂するなどの混乱の中、見事「Bリーグ」として統一するに至りました。

プロとして成り立たせるためのさまざまな仕掛け、旧態依然の組織にいかにして立ち向かい、正していったか…など日本のプロスポーツやスポーツビジネスを知るには欠かせない一冊です。



『アンビシャス 北海道にボールパークを創った男たち』

鈴木忠平・著/文藝春秋

本作は、北海道日本ハムファイターズの新球場建設地決定までの過程を、球団、各自治体、報道関係者等の証言をもとにたどっていくノンフィクション。

プロ野球球団の本拠地移転、新球場建設という巨大な問題に対して、登場人物の多くが“大志”を胸に挑んでいく姿が魅力となっています。

また、プロ野球だけでなく、社会人野球や高校野球、少年野球などの描写もあり、登場人物のそれらへの携わり方も多種多様であるため、さまざまな角度から見た野球を知ることができるのも、本作の魅力であると感じました。

そして、ノンフィクションの作品でありながら、小説のような筆致で書かれているため、普段こういったジャンルをあまり読まない方にもおすすめできる1冊となっています。



光安 友拓さん
図書情報課 職員



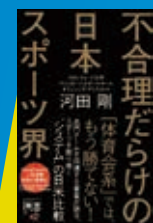
岡本 沙織さん
スポーツ振興センター 事務室 職員

『不合理だらけの日本スポーツ界』

河田剛・著/ディスカヴァー・トゥエンティワン

著者は、スポーツ先進国であるアメリカのスタンフォード大学のアメリカンフットボールチームでオフェンス・アシスタントを務めていた日本人です。この本から、わたしも日本のスポーツにかかわる環境や日本スポーツに関わる指導者や選手の思考をまだまだ改善する余地が沢山あるのだと気付かされました。わたしは長年スポーツに関わってきましたが、この本を読み終える度に毎回心がザワザワっとします。それはきっと、これまで自分が置かれていた環境を思い返してしまうからなのかもしれません。

「スポーツ」には人々を元気にする力や笑顔にする力など、沢山のいいところがあります。ぜひそんな「スポーツ」を違う視点から見てみてください。



2024年4月「スポーツ振興センター」開設!

熊本学園大学が持つ施設や人材などの豊かなスポーツ資源を最大限に活用し、一体的かつ一貫した体制のもと本学のスポーツ活動を積極的に支援・運営・管理するために開設されました。



『サイエンス・オブ・ヨガ』

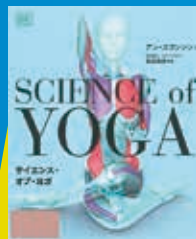
アン・スワンソン・著／西東社

—スポーツをするにも、知識を深めることは上達の助けになる—

あまり身体を動かさない人生を送ってきたわたくしですが、見様見真似で始めたヨガにすっかりはまっています。続けていくにつれて、知りたいことがどんどん増えていたところこの本に出会いました。

この本は凄い！ヨガで使う筋肉、どこが伸びて、どこが縮んでいるか、どこに意識を向けるべきかが一発でわかる！詳しい図解があり解剖学やポーズのことのほか、ヨガの精神や心理学的な効果などとても興味深い読み物です。眺めているだけでワクワクします！

スポーツが好きで図書館にあまり縁のなかった学生の皆さん、それぞれに好きな競技の本、図書館には揃っています。手に取ってみませんか。きっと新しい何かが見えてきます！



野間 美保さん
図書情報課 職員

「スポーツ」を題材にした小説などの文学作品に注目



小坂 直史さん
図書館学生アルバイト
商学科2年

『バッテリー』

あさのあつこ・著／KADOKAWA

野球青春小説といえば、コレですよ！あさのあつこさんの『バッテリー』。

児童文学として発表されましたが、メインターゲットの年齢層だけでなく幅広い年齢層の読者の心もつかみ、累計発行部数1000万部を記録する大ベストセラー作品です。

私も、中学・高校・大学と部活動をやってきました。「かけた時間が結果に直結しないことに悩み葛藤する気持ち」や、また、「そのような時間こそが尊いもの」という登場人物の気持ちが理解できます。

時にぶつかり、時に認め合いながらふたりの少年が『バッテリー』になっていく姿が、この本のタイトルに繋がっていると分かった瞬間、今どきの表現でいう『エモさ』に通じるものがあると感じました。

何度読んでも「ああ、やっぱコレいいわ。」となること必至の作品なので、みなさんもまた読んでみるのはいかがでしょうか。

『アルプス席の母』

早見和真・著／小学館

高校野球小説は、世の中にたくさん出回っていますが、この本の作者は、新風を吹き込んできました..!

母子家庭の母親と高校球児の息子が、親子二人三脚で甲子園を目指すという物語。

..ここまではいつもと変わらないように感じますが、この小説の面白いところは、高校球児の“母親”に焦点を当てたストーリーというところですよ！

保護者同士のドロドロした人間関係や、強豪校ならではの理不尽なルールに苦しめられる母親のリアルな姿が描かれています。

この物語を通じて、私は親のありがたみをひしひしと感じました。スポーツをするにしろ何をするにも親のサポートが必要不可欠だからです。

最後にはとてもいい意味でのどんでん返しが待っていて、スカッとしますよ！爽やかな読了感を得たい方はぜひ！



矢野 彩夏さん
図書館学生コンシェルジュ
経済学科3年



小佐田 凌さん
図書館学生アルバイト
経済学科1年

『ノーサイド・ゲーム』

池井戸潤・著／ダイヤモンド社

この物語の主人公は、大手自動車メーカー本社に勤めるエリート社員ですが、左遷人事をされてしまい、ルールすらも分からない社会人ラグビー部の責任者を兼務することになります。

成績不振、巨額の赤字、廃部寸前のラグビー部の再生に奮闘する物語です。

私は、この作品をテレビドラマでも観たことがあります。

「私は自分の仕事に誇りを持っています。それを曲げることはできません。ダメなのはダメです。」

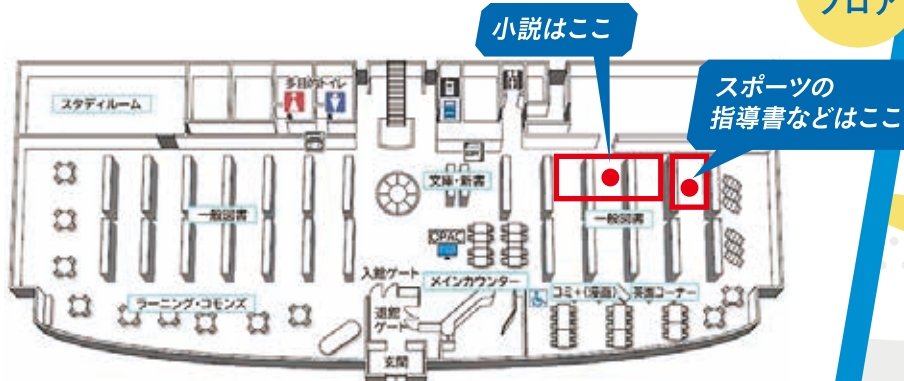
上司の提案に対し、主人公がそう答えるシーンがあります。自分の立場を顧みず発言するこのシーンがとても印象に残っています。価値観や心情の描写がしっかりあるので、ラグビーのルールを知らなくても楽しめる内容でした。

スポーツに興味がある方、スポーツマネジメントに興味がある方にはぐっと胸にくる作品間違いなしです！



1階
フロア

「イチオシ」の本は
ここにあるひの！



2階
フロア

雑誌はここ

映像資料はここ



図書館のスポーツに
関する資料は、
雑誌や映像資料・
電子ブックもあるひのよ！



雑誌



1階入口横の新聞・雑誌コーナーには
スポーツ総合誌「Number」
2階の雑誌コーナーには
「陸上競技マガジン」「近代柔道」「月刊剣道
日本」「スポーツイベントハンドボール」など
各競技の専門誌があります。

映像資料



2階のAVコーナー (AV展示室) にはスポーツ
に関するビデオ・DVDも揃っています。
オリンピックなどのスポーツの名場面集、
各スポーツの競技方法の解説や技術指導など
の映像資料があります。

※AVコーナー利用時間 9:00～19:00

電子ブック



図書館ホームページ→「電子ジャーナル・電子ブック」→「電子ブック」→
「KinoDen」または「Maruzen eBook Library」を選択→本のタイトルやキーワードを入力 (所蔵のみを選ぶ)

大学図書館学生協働 交流シンポジウム

～ウィズコロナの経験をアフターコロナでどう活かすか～



2024年9月5日(木)・6日(金)の2日間にわたり「第12回大学図書館学生協働交流シンポジウム」が開催されました。今年度は鳥取大学での対面会場、Zoomでのオンライン会場のハイブリッド形式で行われました。本学から参加した学生コンシェルジュ2名と職員の報告です。

※学生コンシェルジュ…図書館の利用者に対するさまざまなサポートを行う学生アルバイト

プログラム

月 日	内 容
9月5日(木)	○活動報告 10団体の活動報告 ○フリートーク グループに分かれて自由テーマで交流
9月6日(金)	○ワークショップ グループに分かれ、課題についての話し合い ○全体共有会 ワークショップでの話し合いの結果を共有 ○図書館見学



感 想

私は当初、「そもそも学生協働とは？」という疑問を持ちながら今回のシンポジウムに参加しました。学生が職員とともに図書館の運営に関わり、さまざまな企画に取り組むことの意義を感じました。各大学の多様で豊かな活動内容を傾聴し、グループワークでさらに深いお話をしたことで、「もっと多様な方法で図書館を盛り上げていける!」と考えました。

図書館学生コンシェルジュ 竹田 朱里(東アジア学科4年)

シンポジウムに参加して、他大学のさまざまな取り組みを知ることができました。また対面で参加したことによって、図書館をより良くしようという熱意のある他大学の方々と交流できたことは、私にとって良い刺激になりました。今回学んだことをコンシェルジュ業務だけでなく、自分自身の考え方にも活かしていきたいと思います。シンポジウムに参加できて良かったです。

図書館学生コンシェルジュ 松本 怜奈(リーガルエコノミクス学科3年)

活動報告の発表時間である5分間が短いと感じるほど、各団体熱心にさまざまな活動を行っていて、メンバー構成や力を入れている活動内容など、重視するポイントの違いが特徴として現れており、とても興味深かったです。今回参加した学生だけでなく、他の図書館学生アルバイトの方にも、交流で得た情報等を共有し今後の活動に活かしてほしいです。

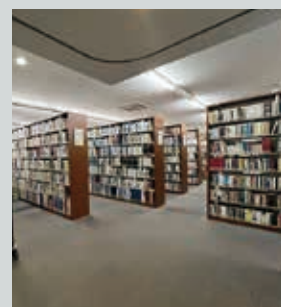
図書情報課 職員 松下 佳保里



▲鳥取大学附属図書館正面玄関



▲タワー型の展示



▲フロアの書棚

左から▶
松下さん
竹田さん
松本さん



NEWS I 2023年度学生懸賞論文審査結果

2023年度は9篇の応募がありました。

論文としての体裁を重視した一次審査を行い、一次審査を通過した7篇についてさらに内容に踏み込んだ専門委員による二次審査を行い次の通りの結果となりました(敬称略・学年は当時)。



■佳作 5篇

佐藤萌(第一部社会福祉学科3年)	きょうだい児の優生思想・反出生思想の分析～SNSと掲示板から探る「きょうだい児」の想い～
田中万裕(英米学科3年)	Stonehearth Asylumにおける人間の实像、欺罔、そして不明瞭な世界
清永ひかる(商学科4年)	加工食品は今後もその容量を縮小させ続けるのか―「シュリンクフレーション」と加工食品のマイクロデータより―
池田弥夢(商学科4年)	田舎の衣料品店が長く存続する理由に関する一考察
谷口惣一郎(ホスピタリティ・マネジメント学科4年)	地域鉄道の沿線活性化に関する研究 ―肥薩おれんじ鉄道を事例に

■奨励賞 2篇

伊藤優希(経済学科3年)	ふくおかFGは熊本県内で九州FGより影響力を強めることが可能か
大瀬良隼(商学科4年)	伝統工芸におけるDXの必要性和その可能性～波佐見焼を事例に～

NEWS II 図書館新入生ガイダンス・ステップアップガイダンス

図書館新入生ガイダンスは、新入生が大学図書館の機能とサービスを理解し、図書館を活用できるようになるための基礎的な支援として、1985年から実施しています。2024年度は、職員によるイラストやAI音声で制作した動画を取り入れ、新入生にも親しみやすいアプローチで図書館の基本的な使い方を学んだ後、地下書庫見学などを行いました。

また、6月以降は、ゼミ単位で、より踏み込んだ図書館活用法を学ぶステップアップガイダンスも随時行っています。

実施期間	2024年4月18日(木)～5月22日(水)
対象者	初年次の演習または必修科目を履修する1年生
実施回数	22回(85ゼミ)
実施方法	対面にて実施
所要時間	90分
内容	・図書館の概要説明 ・地下書庫見学 ・館内散策、演習

NEWS III 2024年度選書ツアー開催



学生選書ツアーとは、図書館に置く本をネット及び書店で選んでもらう企画です。学生のニーズに即した蔵書構成の確立と図書館利用促進を図ることを目的に、2017年のスタートから今年で8回目を迎えました。参加した学部生は5名。丸善ジュンク堂書店のホームページを利用したWEB選書では、期間内の自由な時間に自宅や大学からWeb上で選書しました。詳細は図書館Webページをご覧ください。

NEWS IV 帯山中学校「ナイストライ」



「熊本市ナイストライ事業」の依頼により、2024年10月22日(火)～24日(木)の3日間、熊本市立帯山中学校の職場体験学習を実施し、6名の中学生を受け入れました。

熊本学園大学と付属図書館についての説明と見学の後、図書館業務をひとつひとつ体験して貰いました。それぞれの業務に熱心に取り組み、積極的に質問をする姿に、職員一同大変あたたかい気持ちになりました。

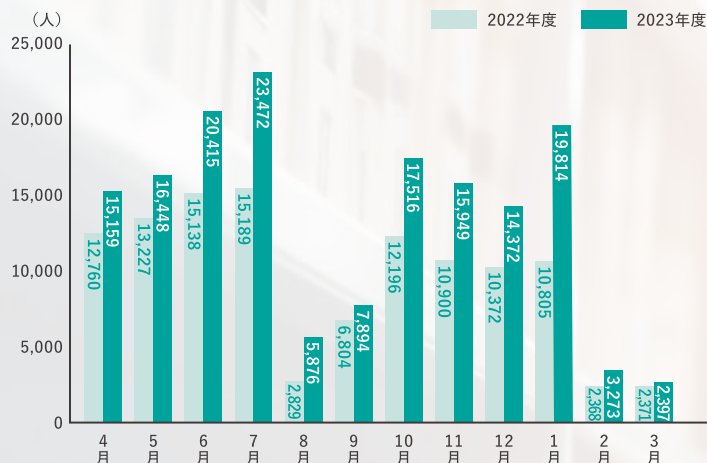


入館者数・貸出冊数

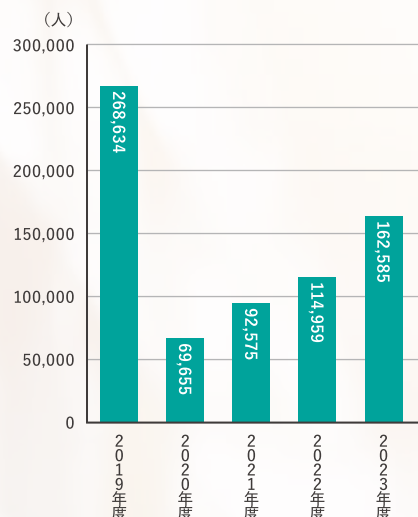
入館者数統計



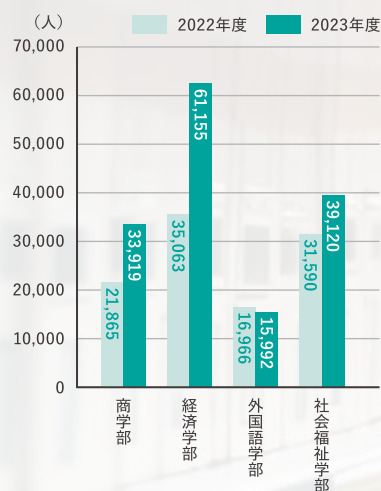
月別入館者数



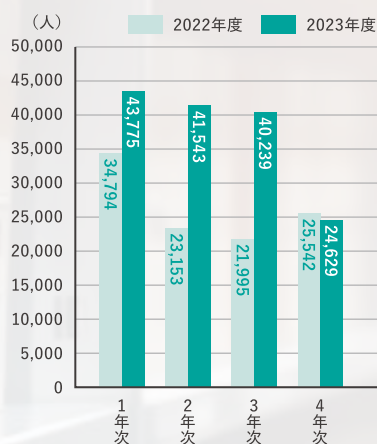
入館者数 (過去5年間比較)



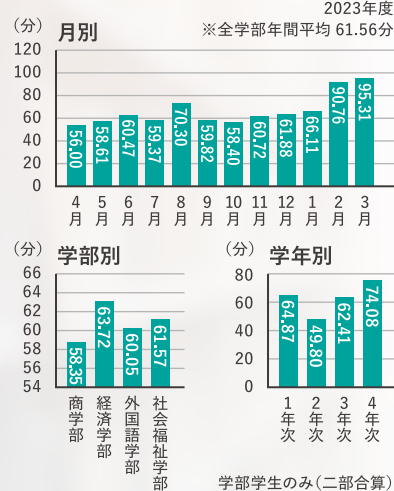
学部別入館者数



学年別入館者数



平均滞在時間



受入統計

2023年度

	洋書	和書	合計冊数
購入	385	6,653	7,038
寄贈	53	194	247
合計	438	6,847	7,285



ILL依頼・受付件数

2023年度

		件数
依頼	複写	217
	貸借	133
受付	複写	451
	貸借	67



電子資料利用統計

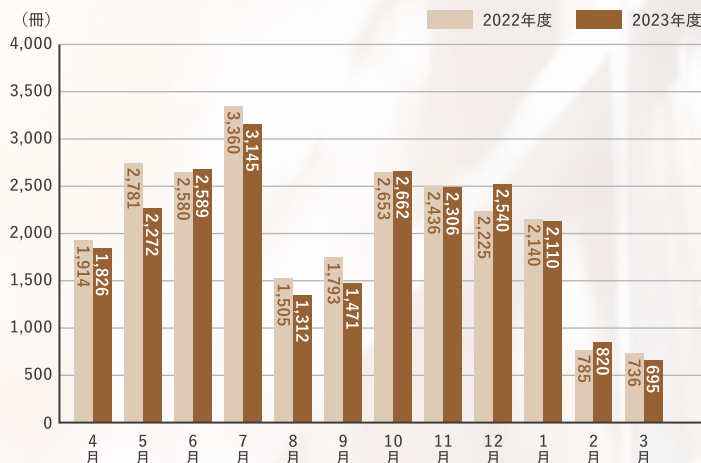
	件数
2021年度	17,380
2022年度	21,656
2023年度	23,344

ログイン回数または検索数

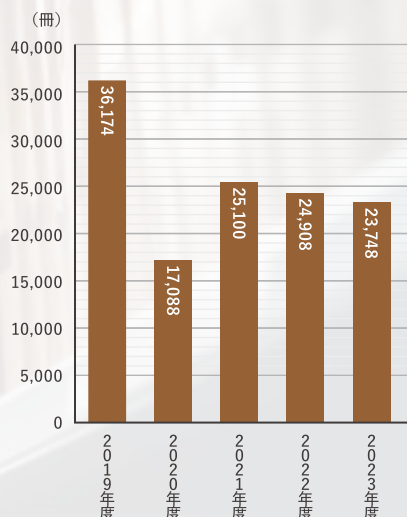


貸出冊数統計

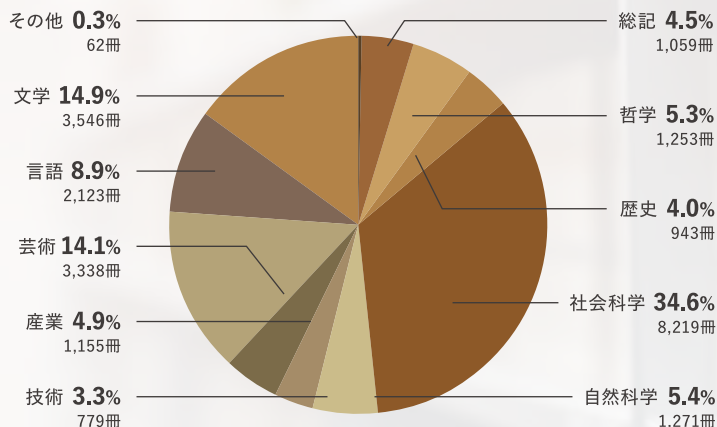
月別貸出冊数



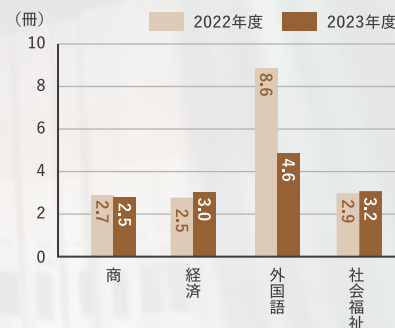
貸出冊数 (過去5年間比較)



分野別貸出冊数 2023年度



学部別一人あたりの貸出冊数



貸出冊数	商	経済	外国語	社会福祉
2022年度	3,851	3,893	5,524	3,976
2023年度	3,546	4,309	2,688	4,388

学部学生のみ(二部合算)

AVコーナー利用状況

(過去5年間比較)

	人数
2019年度	11,852
2020年度	135
2021年度	400
2022年度	639
2023年度	2,640

統計より

Statistics

2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、さまざまな利用に関する規制もほぼ解除され、通常の授業体制となりました。卒業生や一般利用者の入館制限も解除されたため図書館の利用者数は回復してきましたが、利用者数は「コロナ前」の3分の2程度となっています。

引き続き入館時の手指消毒や検温などの感染拡大予防策についてはご協力をお願いしつつ、大いに図書館を活用していただきたいと思います。

図書館では電子資料も含め、利用者のニーズに合わせて図書の受け入れを行い、皆さんに利用していただくことを目指していきます。



図書館日誌

2023年10月～2024年9月

図書館行事

10月2日 ステップアップガイダンス
 10月3日 ステップアップガイダンス
 10月9日 休館（スポーツの日）
 10月10日 トークイベント（スポーツの日）
 10月13日 ステップアップガイダンス
 10月16日 図書館委員会
 10月19日～20日 ナイストライ
 10月20日 ステップアップガイダンス
 10月22日 休館（本学入学試験）
 10月24日 ステップアップガイダンス
 10月27日 ステップアップガイダンス
 11月1日～2日・4日 全学休講日（17時閉館）
 11月3日 休館（文化の日）
 11月6日 ステップアップガイダンス
 11月8日 避難訓練
 11月10日 図書館委員会
 11月23日 休館（勤労感謝の日）
 11月26日 休館（本学入学試験）
 12月8日 図書館委員会
 12月12日 学生懸賞論文表彰式
 12月15日 ステップアップガイダンス
 12月17日 休館（本学入学試験）
 12月21日 トークイベント（台湾）
 12月25日 21時30分閉館
 12月26日～1月4日 休館（年末年始一斉休業）
 1月8日 休館（成人の日）
 1月12日 全学休講日（17時閉館）
 1月13日～14日 休館（大学入学共通テスト）
 1月28日 日曜日開館（9時～17時開館）
 2月2日 図書館委員会
 2月3日 17時閉館
 2月7日～9日 休館（本学入学試験）・蔵書点検
 2月11日 休館（建国記念の日）
 2月12日 休館（振替休日）
 2月23日 休館（天皇誕生日）
 2月27日 図書館委員会
 3月8日 休館（本学入学試験）
 3月20日 休館（春分の日）
 3月22日 学位記授与式（17時閉館）
 3月29日 休館（年度末処理）
 4月3日 入学式（17時閉館）
 4月6日 17時閉館
 4月7日 日曜日開館（9時～17時開館）
 4月18日～5月22日 新入生ガイダンス
 4月29日 授業実施に伴い通常開館（昭和の日）

5月3日 休館（憲法記念日）
 5月4日 休館（みどりの日）
 5月5日 休館（こどもの日）
 5月6日 休館（振替休日）
 5月30日 休館（創立記念日）
 6月4日 ステップアップガイダンス
 6月10日 ステップアップガイダンス
 6月13日 ステップアップガイダンス
 6月19日 ステップアップガイダンス
 6月25日 ステップアップガイダンス
 7月1日 ステップアップガイダンス
 7月8日 ステップアップガイダンス
 7月13日 17時閉館（二部休講のため）
 7月15日 休館（海の日）
 7月17日 学生懸賞論文説明会
 7月20日 17時閉館（二部休講のため）
 7月21日 オープンキャンパス（休館）
 7月26日 ステップアップガイダンス
 8月8日 オープンキャンパス
 8月9日 17時閉館
 8月10日～19日 休館（夏期一斉休業）
 8月28日 17時閉館（台風接近のため）
 8月29日～30日 臨時休館（台風接近のため）
 9月16日 休館（敬老の日）
 9月22日 休館（秋分の日）
 9月23日 休館（振替休日）
 9月27日 学位記授与式（9月期）
 9月28日 17時～19時45分開館（二部授業実施のため）

見学者・団体

10月12日	熊本県立鹿本商工高等学校	36名
11月30日	熊本県立甲佐高等学校	31名
12月14日	熊本県立南稜高等学校	20名
3月13日	熊本県立南稜高等学校	17名
6月6日	熊本県立高森高等学校	67名
6月24日	私立熊本中央高等学校	21名
6月27日	私立くまもと中央高等学院	11名
7月5日	熊本県立岱志高等学校	21名
7月18日	宮崎県立都城西高等学校	17名
9月10日	熊本県立熊本西高等学校	100名
9月17日	私立城北高等学校	35名
9月18日	私立熊本国府高等学校	90名
9月18日	私立慶誠高等学校	72名

編集後記

各競技のワールドカップや世界選手権での日本代表の活躍が顕著となり、また国内でもさまざまな競技のプロリーグが生まれて、スポーツ観戦を趣味とする者としてはとても楽しみが増えている感があります。わが熊本学園大学でもスポーツ振興センターを立ち上げ、スポーツに打ち込む学生をサポートする体制が整いつつあります。

これから更にスポーツに励む学生の皆さんはもちろん、「スポーツ観戦が好き」な方、「これから何かスポーツにチャレンジしてみたい」と思っている方も、図書館を大いに活用していただきたいと思います。

(M.M)

